大分大学「同窓生との合同交流会」in 宮崎

大分大学と大分大学同窓会連合会では、平成２８年度から新たな取り組みとして、各地区において「大分大学ホームカミングデー」のミニ版を開催することを決定し、令和元年度においては宮崎地区で開催する運びとなり、今年は、令和元年１０月5日（土）に宮崎市にある「ホテルメリージュ」において「大分大学『同窓生との合同交流会』in 宮崎」を開催いたしました。

合同交流会では、各学部・研究科等の同窓生が一堂に会し、始めに同窓会連合会役員及び大分大学の役職者が紹介され、秦政博同窓会連合会会長の挨拶が行われ、引き続いて大分大学と同窓生との情報の共有と一体感の醸成を図るため、各学部等の現状報告が行われました。最後に、守山正胤（研究、社会連携、産学連携、地域医療人材育成・福祉担当）理事からの挨拶があり、同窓会連合会に対して「大分大学と同窓生とのパイプ役として、また、入学志願者の拡大や在学生の就職支援などにおいても引く続きご協力を賜りたい。」との思いと、また、同窓生へは「各国立大学は、国からの運営費交付金が減額される一方、競争力をもち高い付加価値を生み出す大学への転換が求められ、社会全体からの支援による財源の多様化・強化など、自己収入の拡充も喫緊の課題となっています。本学は、知の拠点として、地域社会全体に貢献できますよう、今後も努力を重ねて参る所存でございますので、皆様からの財政面でのご支援もお願いできれば幸いです。」との期待が述べられました。

懇親会においては、松尾孝美翔工会会長による開会挨拶及び乾杯の音頭で開宴し、同窓生が世代や出身学部等を越えた交流が行われ、和やかなひと時を過ごしました。また、途中で豊友会・四極会・玉樹会・翔工会の各同窓生から近況報告等があり、最後は金丸光臣豊友会宮崎支部長の一本締めにより宴を閉じました。

地区別合同交流会としては、平成２８年度及び平成２９年度は福岡にて、平成３０年度は熊本にて開催し、宮崎での開催は初めてでしたが、参加者からは、「同窓生という括りで、年齢を問わずに交流できることは素晴らしいと思った。」、「大学で過ごした時代は何年経ってもよい思い出です。いつまでも大分大学を応援しています。」、「大学の在り方を考える貴重な時間となった」等の感想が寄せられました。

来年度も新たな地区での開催を目指して企画するようにいたしております。

合同交流会での秦政博連合会会長挨拶

合同交流会会場風景

合同交流会での守山正胤理事の閉会挨拶

懇親会での松尾孝美翔工会会長による開会挨拶

懇親会での松尾孝美翔工会会長による乾杯の音頭

懇親会会場風景

懇親会での金子光臣豊友会宮崎支部長による一本締め